

ひとが活きる

みらい尾花沢

しあわせプラン

概要版

第7次尾花沢市総合振興計画

後期基本計画 令和8(2026)年度▶令和12(2030)年度

このまちでともに **生きる**
時 を刻むまち
しあわせな **尾花沢**

▼本編はこちらから

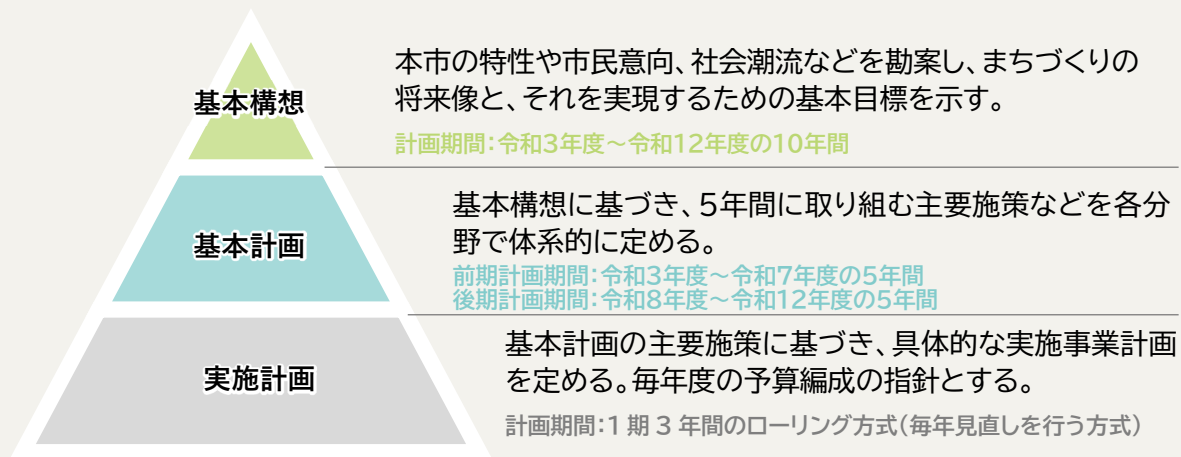


後期基本計画策定の目的

尾花沢市では、令和3年度から令和12年度の10年間の計画期間とする第7次尾花沢市総合振興計画「ひとが活きる みらい尾花沢しあわせプラン」を基本指針としてまちづくりを進めてきました。

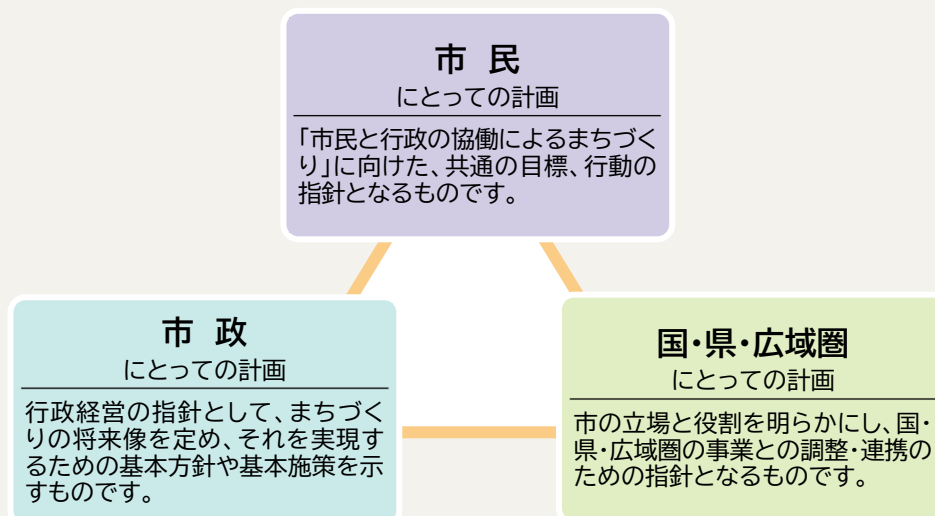
前期基本計画が令和7年度で満了することを機に、これまでの歩みを確かな土台としつつ、将来像の実現を更に加速させる次のステージへと進みます。本計画は、市民一人一人のしあわせを具体的に形にするための、今後5年間の行政経営の基本指針「後期基本計画」として、「第3期尾花沢市総合戦略」及び「第3期尾花沢市人口ビジョン」と併せて策定しました。

総合振興計画の構成



後期基本計画の役割

後期基本計画は、まちづくりの最上位計画として3つの役割を担うものです。



後期基本計画の計画期間

後期基本計画の計画期間は、令和8年度から令和12年度の5年間です。

年度	令和3 (2021)	令和4 (2022)	令和5 (2023)	令和6 (2024)	令和7 (2025)	令和8 (2026)	令和9 (2027)	令和10 (2028)	令和11 (2029)	令和12 (2030)
基本構想	10年間									
基本計画	前期基本計画 5年間					後期基本計画 5年間				
実施計画	1期 3年間									
		ローリング方式(毎年度見直し)								

基本構想の概要

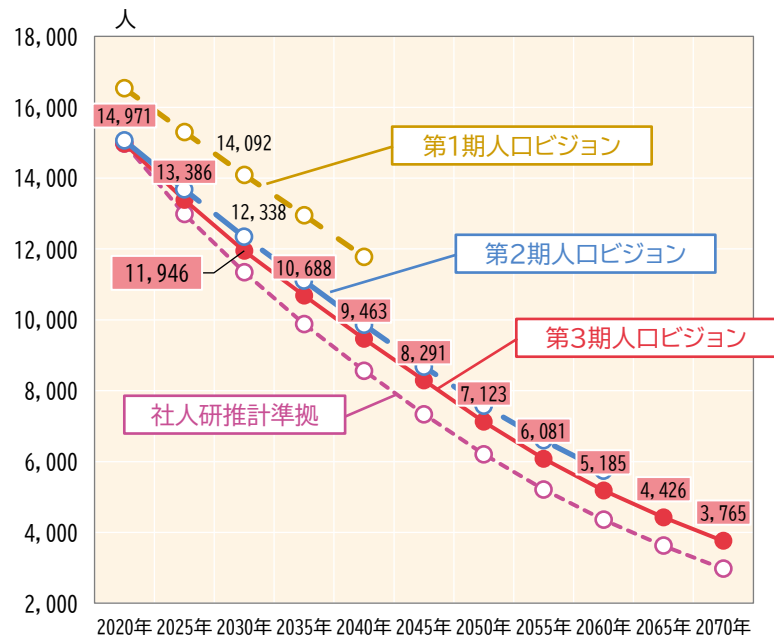
まちの将来像

このまちで ともに 生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢

将来人口推計（第3期尾花沢市人口ビジョン）

国立社会保障・人口問題研究所が令和6年に推計した本市の将来人口推計を基に、生産年齢人口に影響する20～40代の若い世代の定着・回帰や子育てしやすい環境づくりなどに取り組み、人口減少スピードを緩やかにすることを目指します。

その成果として、計画最終年度である令和12年(2030年)の本市人口をおおむね11,950人程度と推計します。



※第3期人口ビジョンは、社人研推計準拠をベースに令和7年4月1日現在の住民基本台帳人口を基準として令和7年以降を市独自で推計

まちの将来像・基本目標

まちの将来像

これからも市民と行政の協働によるまちづくりを進めていくためには、子どもから高齢者まで、本市に集う全ての人が未来の尾花沢を具体的にイメージできることが大切です。「こんな尾花沢がいいな」という願いをみんなで共有するため、これからの10年間で目指していく将来像を定めます。

基本目標

将来にわたって持続的に発展し続けていくため、5つの「政策の柱」を基本目標に掲げます。

政策の柱1 産業振興

キラリと光る 産業のまち

地域産業の振興は定住人口の増加と地域活性化の「原動力」です。

グローバル化する社会経済情勢を見据え、世界を意識しながら、本市の地域特性を活かした足腰の強い産業振興と雇用の創出を図り、一人ひとりがいきいきと働くキラリと光る産業のまちを目指します。

政策の柱2 子育て・教育

ふるさと愛を 育むまち

少子高齢化と人口減少の克服には、子どもが健やかに成長できる環境づくりが最も重要です。

グローバル化がますます進む21世紀を生きる子どもたちが、国際感覚を持ちながら個性と創造力を伸ばすことができるよう、子育て環境と学校教育の充実、さらには、生涯にわたって生きがいを持てる環境づくりを進め、市民一人ひとりのふるさと愛を育むまちを目指します。

政策の柱3 健康・医療・福祉

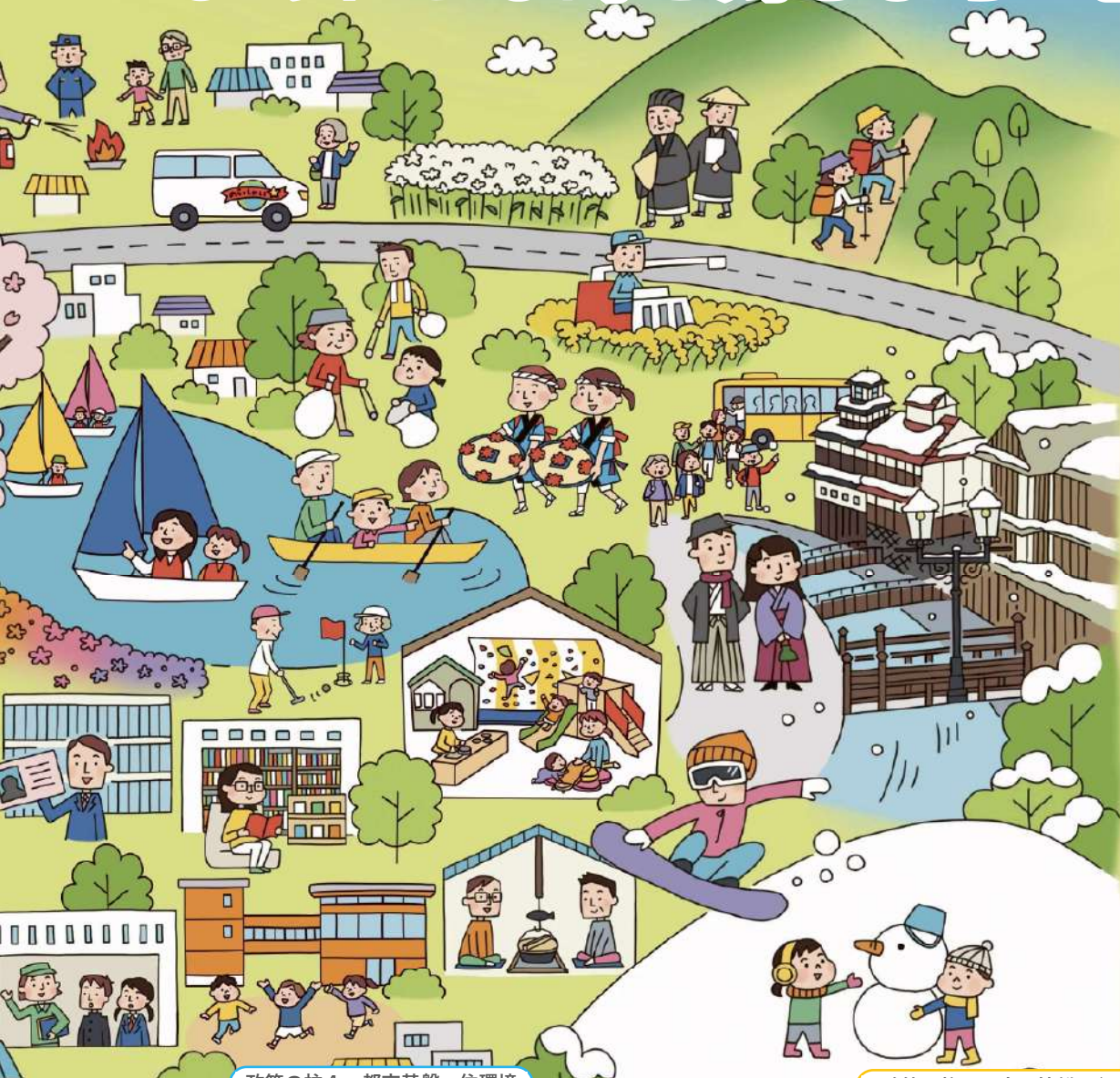
健康長寿と 絆のまち

少子高齢社会を迎えた今日、健康長寿社会の形成は重要なテーマの一つです。

市民自身の健康づくりへの意欲と地域の結び付きを大切に、互いに支え合いながら「自分らしく活躍し、自分らしく生きる」ことができるよう、健康長寿と絆のまちを目指します。



このまちで ともに 生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢



政策の柱4 都市基盤・住環境

暮らしやすく 住み続けられるまち

市民はこれからのまちづくりに「快適で安全安心に暮らせるまち」を最も望んでいます。

次の100年の持続的発展に向け、イノベーション(変革)し続けるデジタル技術を取り入れながら、雪と災害に強く、自然と調和した良好な生活空間を形成し、暮らしやすく住み続けられるまちを目指します。

政策の柱5 市民協働・行財政

笑顔の花咲く 交流と協働のまち

魅力的で活気ある地域をつくるためには、このまちに集う全ての人々の力が必要です。

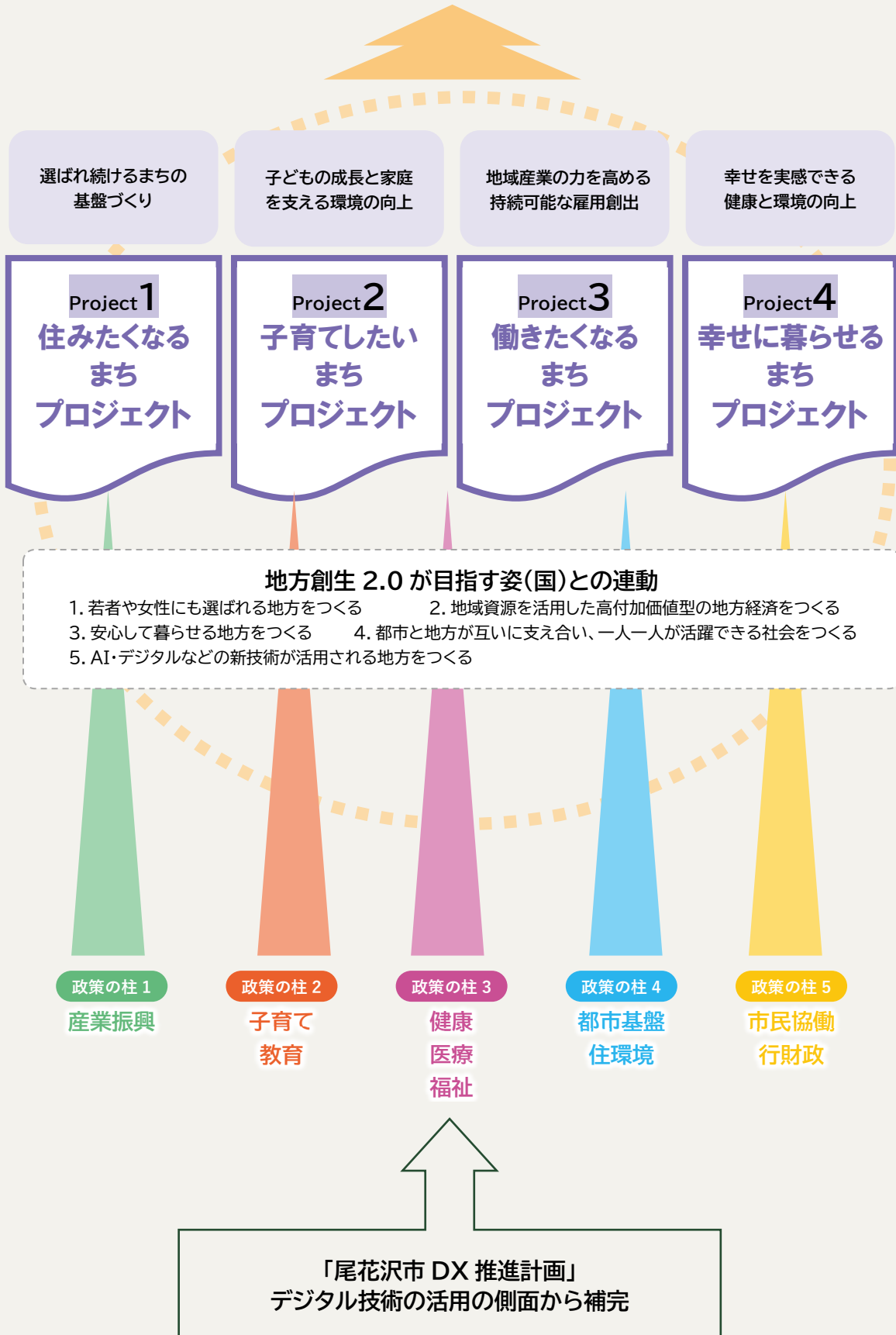
市民と行政が一体となって知名度とまちの魅力を高め、交流から関係人口へ、そして移住の地として選ばれるまちを目指します。

あらゆる分野で一人ひとりが個性と能力を発揮できる環境づくりを進め、活発なコミュニティ活動を基盤とする市民協働のまちを目指します。

重点プロジェクトの全体像

まちの将来像

このまちで ともに 生きる しあわせな時を刻むまち 尾花沢



重点プロジェクトの内容

Project ① 住みたくなるまちプロジェクト

プロジェクトの方向性と目指す成果

関係人口の創出と定住促進を一体的に進め、地域の活力を高めます。あわせて、暮らしの安全と安心を支える交通・雪対策や安全・安心な環境整備を推進し、誰もが住み続けられ、次世代からも「選ばれるまち」としての生活基盤を確立します。

成果（数値目標）	基準（R7）	目標（R12）	説明
本市に住み続けたい人の割合	54.6%	基準値を上回る	市民アンケートに「本市に住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」と答えた人の割合。本市への定着率向上を図る。

Project ② 子育てしたいまちプロジェクト

プロジェクトの方向性と目指す成果

子育て支援の拡充と学校教育の充実により、次世代を担う子どもたちの健やかな成長を支えるとともに、男女共同参画を推進することで、誰もが共に支え合いながら、安心して子どもを産み育てられる、若者や女性に選ばれる「子育てしたいまち」を実現します。

成果（数値目標）	基準（R7）	目標（R12）	説明
少子化対策・子育て支援の満足度	21.5%	基準値を上回る	市民アンケートによる「少子化対策・子育て支援」に「満足である」「どちらかといえば満足である」と答えた人の割合。

Project ③ 働きたくなるまちプロジェクト

プロジェクトの方向性と目指す成果

基幹産業である農業の振興と地域産業の活性化を図り、活力ある経済基盤を築きます。あわせて、多様な働き方に対応した雇用環境の充実を進めることで、若者や市民が地元で意欲を持って働き続けられる「働きたくなるまち」を実現します。

成果（数値目標）	基準（R7）	目標（R12）	説明
本市で働きたい人の割合	21.5%	基準値を上回る	市民アンケートによる「あなたは将来どこで働きたいですか」の問いに「尾花沢で働きたい」と答えた人の割合。

Project ④ 幸せに暮らせるまちプロジェクト

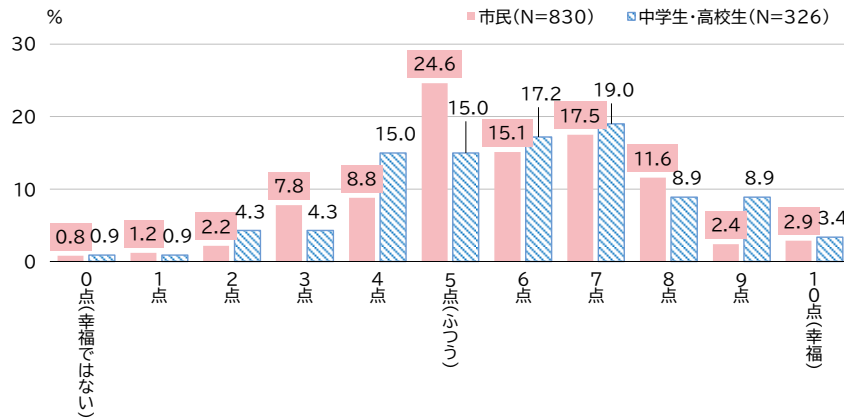
プロジェクトの方向性と目指す成果

健康増進の取り組みや、市民一人一人に寄り添った行政サービスの充実により、心身ともに健やかに暮らせる環境を整えます。あわせて、脱炭素と循環型社会による良好な生活環境の整備を進め、全ての市民が心身ともに健康で環境にやさしい暮らしに喜びを感じる「幸せに暮らせるまち」を実現します。

成果（数値目標）	基準（R7）	目標（R12）	説明
市民の幸福度	5.73	基準値を上回る	市民アンケートによる「尾花沢市で暮らすあなたの幸せの程度は10点満点で何点くらいですか」の点数の平均値。より多くの人が幸福感を感じながら過ごすことができるまちづくりに努める。

まちづくりアンケートの主な結果

幸福感／尾花沢市で暮らすあなたの幸せの程度は10点満点で何点ぐらいですか。



市民アンケート結果の見える化（自由意見をもとに作成）



「雪」や「クマ」、「安心」などの安全対策に対する言葉や、「人口減少」や「農業」のような市の将来に関する言葉も多く見られました。

(青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞・形容動詞、単語の大きさはスコア順)

中学生・高校生アンケート結果の見える化（自由意見をもとに作成）



「ショッピングモール」や「施設」、「遊ぶ」など、集まれる場所や遊び場、便利さを求める言葉が多くみられるとともに、「増える」や「頑張る」をはじめとしたポジティブな言葉が多いです。

(青色：名詞、赤色：動詞、緑色：形容詞・形容動詞、単語の大きさはスコア順)

※自由意見についてはいずれもユーザーローカル大容量テキストマイニングツール

(<https://wordcloud.userlocal.jp/>) による分析

※「尾花沢」「尾花沢市」のように出現頻度と重要度の関連が薄いと思われるキーワードは除外して作成

ひとが活きる みらい尾花沢しあわせプラン
[第7次尾花沢市総合振興計画 後期基本計画]

令和8年3月

発行：尾花沢市 編集：尾花沢市 総合政策課

